

情報に触れましょう。関わりましょう。調査に参加しましょう。

# あなたの**2020国勢調査** 障害のある方向けガイド

## 障害と共に生活している人々にとって国勢調査が重要であるのはなぜですか？

米国国勢調査局の2018年人口推計によると、2013～2017年の65歳未満のLos Angeles市民のうち、6.3%が障害者であると報告しました。

聴覚障害者、難聴者、視覚障害者、または他の認知障害を経験している人は、存在を認識され、調査にカウントされる必要があります。国勢調査が正確でない場合、障害に関係なく誰もが影響を受けます。すべての人が国勢調査に参加しないと、医療、セーフティネットプログラム、政治の代表権のための連邦資金を損なうことになります。

## 国勢調査の調査票は、何らかの障害がある人も利用できますか？

オンラインで調査票を提出できない場合は、国勢調査ホットラインへの電話で調査に回答するか、国勢調査員から紙の調査票を入手することができます。地域の国勢調査親善大使と国勢調査完遂委員会も、地域社会に根ざした組織と協力して、発語、言語、視覚、その他の障害を持ち、質問票の回答に助けが必要な人々に手を差し伸べています。さらに、国勢調査局は、言語用語集、ビデオおよび印刷されたガイドを提供します。

これらは、アメリカ手話、点字、および大きな活字を含む59の英語以外の言語で利用可能となります。

## 調査票は英語を話さない人々も利用できますか？

はい。オンラインでは、調査票は以下の12言語で利用可能になります。スペイン語、中国語（簡体字）、ベトナム語、韓国語、ロシア語、アラビア語、タガログ語、ポーランド語、フランス語、ハイチ・クレオール語、ポルトガル語、日本語。さらに、国勢調査ホットラインではこれらの言語での支援および聴覚障害者のための聴覚障害者用通信機器を提供します。

紙の調査票は、英語とスペイン語のみの提供となります。

Los Angeles 市は、障害のある方々が市のプログラム、サービス、および施設に平等にアクセスできるよう、相応な便宜を提供します。要請は、市障害者部門まで、  
eメール [DOD.Contact@lacity.org](mailto:DOD.Contact@lacity.org) または (213) 202-5668に、5営業日前までにご連絡ください。

Eric  
Garcetti  
@MayorOfLA



[census.lacity.org](https://census.lacity.org)  
#2020Census

